



# 田村市立都路中学校 学校だより 第22号

令和6年10月7日(月)  
発行責任者：校長 佐藤 仁  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

## 過去と他人は変えられないが 未来と自分を変えることができる

10月に入り、今年度も折り返しの時期になりました。今週金曜日には期分け式が予定されています。節目の時期です。生徒の皆さんには、4月からこれまでの振り返りとそれに基づいた目標の設定や達成のための具体的な方法を考えてほしいと思います。来年3月までの半年の意味は、学年によって異なるでしょうが、生徒の皆さんには悔いなく達成感をもって卒業式・修了式を迎えられるように一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

タイトルにあることばを聞いたり見たりしたことがある人もいると思います。私の好きなことばであり、私を励ましたり前向きにさせてくれたりするパワーワードです。

普段の生活の中で、「あの時、もっとがんばっておけば良かった」とか「〇〇さんに、あんなことを言わなければ良かった」など、後悔したり落ち込んだりすることは多いものです。もちろん反省は必要ですが、過度に後ろ向きになったり否定的に物事を考えたりする必要はありません。なぜなら、どうあがいても過去を変えることはできないからです。過去にとらわれ過ぎることなく、今そして未来のために反省を生かすことが大切です。

過去だけでなく、他人を変えることもできません。変えることができない他人に、必要以上にとらわれて生活している人もいると思います。「あの人が〇〇すれば良いのに」とか「なんであの人は私のことをわかってくれないんだろう」と思っても、他人の気持ちや言動を自分の思うようにコントロールすることはできません。

冷静に考えれば、今の自分にはどうしようもできないことがあります。もちろん、自分の考え方で失敗や後悔を次に生かすことは可能です。自分で変えることができるものもあります。それは、これからの自分であり未来です。周囲と関わりながら、最終的には自分の力で、自分自身と未来を作っていく。どんな自分でありたいか、どんな未来にしたいかは自分次第です。自分ではどうしようもないことをあれこれ悩むより、これから自分にできることを前向きに考えて取り組んでいくことが大切です。今の自分にとって何が必要なのか。その答えは人それぞれ。節目のこの時期に、自分の未来のために、「点滴石を穿つ」ではないですが、一步一步着実に前進してほしいと思います。

## 野球部、県大会出場！

10月5日、6日と県中地区中学校新人野球大会が行われました。雨が降ったりやんだりとした厳しいコンディションの中、本校野球部は1回戦(対明健中 7-0)、2回戦(対小原田中 7-0)、準決勝(対船引中 7-3)と勝ち抜き、県大会出場権を獲得しました。おめでとうございます。なお、決勝戦は10月12日に雨天順延となりました。レギュラーメンバーにけが人が出るなど、万全のチーム状況ではない中、全員野球で戦いました。選手のがんばりに心から拍手を送ります。保護者の皆様、ご家族、地域の皆様、荒天の中の応援、ありがとうございました。

